

# 2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること	採択コース
カナダで感じる自然の力。またそこで活動する人々の想いを知る。	Bコース

学生情報	
氏名	藤田里乃
所属学部・研究科	生物資源学部・森林科学専修
学年(出発時)	2年

渡航先情報	
渡航先	カナダ・ケベック州・モンカルム
渡航先滞在期間	9/19～9/29
訪問先機関等	PaulCasavant(慈善団体のオーナー)
訪問先機関での身分	ボランティア

渡航概要と内容
<p>本渡航は、森林に囲まれて暮らしている人々と関わり、環境問題や自然に関してどのように考えているのかを聞くことを目的として、2025年9月19日から9月29日まで10日間カナダのケベック州に滞在したものである。滞在中は現地の家庭でのホームステイを行いながらエコロジー建設、ガーデニングなどの自然に囲まれた場所で活動を行った。</p> <p>渡航中は、カナダの広大な自然に触れるとともにそこで交流した人々の考えや価値観に触れることができた。英語を用いた日常的なコミュニケーションをとると共に、フランス語にも触れることで、そこでの文化を学ぶこともできた。また、たくさんの自然や考えに触れることで自分の考えの幅を広げていくことを目指した。これらの経験を通して、自然の良さを再認識し、帰国後は日本の自然への理解度を高め、今後の学修や将来の進路選択に活かしていきたいと考えている。</p>
渡航により達成できたこと
<p>渡航において達成できたことは、現地で暮らしている人々や、そこに集まる人々の考えを聞いたことである。今回の渡航では自然に囲まれるた地で生活している人々の、自然や環境問題への考えを聞くことを目的としていた。その目的を達成できたと思う。</p> <p>またそれだけでなく、自らコミュニケーションをとることによって、受け身ではなく自分から関係を築く行動が取れるようになった点も大きな達成であると感じている。</p>

### 渡航を通じて感じたこと・学んだこと

渡航を通して最も強く感じたことは、私たち一人ひとりができる小さな行動が、環境問題の解決に繋がっていくということだ。私は渡航するまで、環境問題は人類にとって深刻な問題であり、早く結果を出さなければならぬと考えていた。しかし今回の渡航で、私たち一人一人が自分たちの暮らしている環境を大切に考え、守っていく行動を積み重ねていくことが、現在の環境を維持し、より良くしていくことにつながるのだと身をもって感じた。

また、何か大きなことをしなければならないと構えるのではなく、小さな行動を丁寧に積み重ねる大切さを学んだ。さらに、現地の人々の考えを聞く中で、日常の中にも自分ができることがあると気づくことができた。

### 今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の渡航を通して、自然や環境問題に関する考え方や、カナダのケベック州の文化に触れることで、考え方の幅が広がった。この経験は今後の学修において、講義や研究などで物事を多角的に捉え、考えることに活かしていきたい。

また、将来的には自然と人をつなげる仕事に携わりたいと考えているので、多様な価値観を尊重しながら他者とコミュニケーションをとる力は、どのような職においても必要だと考えている。今回得たものを基に、他者との信頼関係を築き、社会に貢献できる人間へと成長していきたい。

### この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

この事業での渡航を考えている学生には、不安があってもぜひ挑戦してほしいと伝えたい。渡航前は語学力や異文化への適応に不安を感じるかもしれないが、実際には完璧である必要はなく、「理解しようとする姿勢」や「笑顔」などがなによりも大切である。

事前にできる準備をできる限りすることで不安は軽減すると思う。また、現地では失敗を恐れずに行動し、自分から関わろうとすることで、多くの学びや出会いが得られる。渡航後には、自身の経験を言語化し、振り返ることで、この経験を今後の学修や進路に確実につなげてほしい。

### 計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	229,590円
海外旅行保険	7,109円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	17,234円
光熱費	
食費	19,634円
その他	42,829円
合計	316,396円